

なきごえ



1974

10

大 阪 市
天王寺動物園協会

動物と私

辻 栄 重

「動物と私」この題名に、私は、今更ながら動物とのつながりの深い自分を知る。亡父も生来の動物好き、特に馬に関しては異常なほど好きで、私が生まれてから乗馬クラブを開設するほどであった。だから、私は、馬や犬と遊ぶことが多かった。2才のとき、犬と共に表通りに遊びに出て、昔の2輪馬車に全身をまともに轢れてしまった。肋骨3本骨折、腹部圧迫内出血により重体となり、仮死状態が2時間程続き、また、後日も約30分程死んだとされていたらしい。この事故が、私の運命を大きく支配する最初の事件であった。また、大の動物好きにしたともいえる。この事故のため、私は小学校の4年生頃まで、身体は大きい、病弱であったために、親姉弟も困っていたらしい。当時、父親が飼っていたのは、馬6頭、犬5頭、兎10匹、サル1頭、ニワトリ6羽、ネコ2匹の動物たちであった。そこで、私は、これらの動物たちと共に運動することを考え、毎朝午前5時に起床しました。初めのうちは、犬達と一しょに走ることにして、次第に元気になるにつれて今度は馬の運動に朝露をふんで駆けたものでした。運動後は、馬も犬も手入れをし、動物たちに朝食を与えてから自分も朝食をとって学校に行くというのが、日程であった。これが実に5年間続いた。こうして、動物のおかげで大変健康になっていった。

次に人生の転機になったのは、私が将来どの道を選ぶかというときであった。私は、外科医になるか、獣医師になるか、画家になるか、迷っていた。このとき親父から、「お前の生い立ちからよく考えて、動物たちに恩を返す気はないか」と言われた。私は3日間考え続けて、獣医師になる決心をしたのです。

昭和7年3月大阪府立農学校獣医畜産科卒業、その時、科目こそ違うが、同窓の故 辻善之助氏

の大阪に於ける動物愛護運動を聞く、

「動物を真に愛するものは、人をも愛する」この一言とこの陰の運動に私は心から感動したことも事実なら、同じ辻姓として生まれ、この人の運動のまねごとをたとえ3日でもしてみたいと思い、入会したのが、現在までこの運動に生命をかけているといってもよいと思う。それほど、動物達は、私達人間になくってはならないものである。

また、才2の人生である結婚に当り、昭和12年3月吉日？か、家内と見合いをしたのが天王寺動物園。これは、私の希望を家内の方が受け入れたため、仲介人は、動物園で見合いなど聞いたこともないと言ったが、私は獣医師、しかも、開業している以上動物好きの家内がほしいから、ガンとして譲らず実現したものであった。この事もあり、また同窓ということもあり、以来、寺内信三、和田辰巳の歴代園長、それに、現在の中川道朗園長はじめ、動物園に働く人々との交際が続いたといえると思う。

どの動物を見てもあの清らかな美しい目、すみきった目、私が動物を心から愛するのこの目にたまらない人生を感じるからです。もし、動物がこの世に1匹も1羽もいないとしたら、私達人間は、どうなるだろう。考えただけでもおそろしいことだ。それだからこそ、これからも明るい平和な世界を築くには、正しい動物愛護運動を推し進めなければならないと思います。(大阪動物愛護会常務理事)



なきごえ10月号もくじ

| | |
|-----------------|-----|
| 動物と私 | 2 |
| シシオザル | 3 |
| 動物園グラフ | 4・5 |
| 中国から入園した動物たちの近況 | 6・7 |
| 中国の動物園を見学して | 8・9 |
| 動物相談(8) | 10 |
| 動物園ニュース | 11 |

表紙の写真説明

“ハイイロカンガルー”

万博のときに、オーストラリアから贈られたカンガルーです。おす同士が立ち上って争っています。キックボクシングのようですね。



“シシオザルの親子”

8月の上旬に生まれたシシオザルの赤ちゃん。

当園でもこれまで何頭もの出産がありましたが、大変かわいらしいので写真で御紹介します。このサルは、国際保護動物になっている貴重なサルです。

動物園グラフ

“食欲の秋”

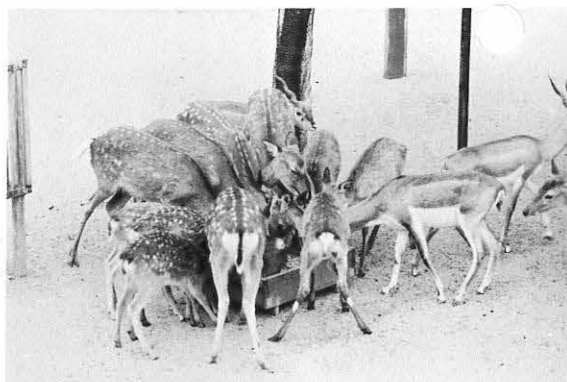
涼しい秋は動物たちにとっても、しのぎやすくてまた、食欲もでる季節です。

寒い冬に向って、体力をつけるための自然のしくみでもあるのです。ここで、動物たちの食事風景を御紹介しましょう。

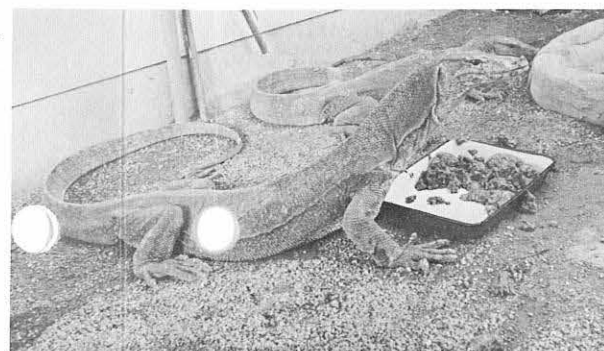


↑シマウマ
牧草が好物
中央はホーブラ（トカラウマとシマウマの雑種）

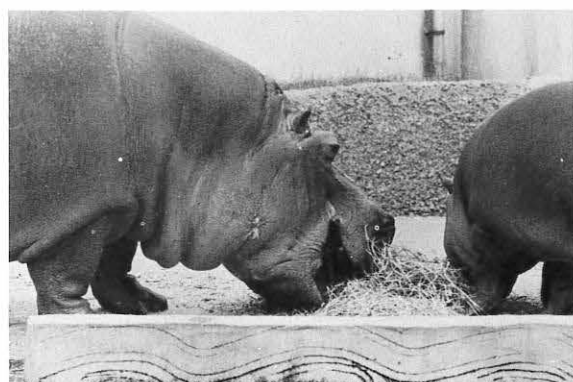
ハナシカ、エゾシカ、クロカモシカ →
かもしか園で餌時になるとわっと寄ってきて餌箱に顔をっつ込んでいます。



→
ミズオオトカゲ
ミンチと卵の豪華な食事
暖房の部屋で食欲もモリモリ。



←カバ
牧草や、ねり餌を大口をあけて食べる。
食べ終るとまた水の中へ。

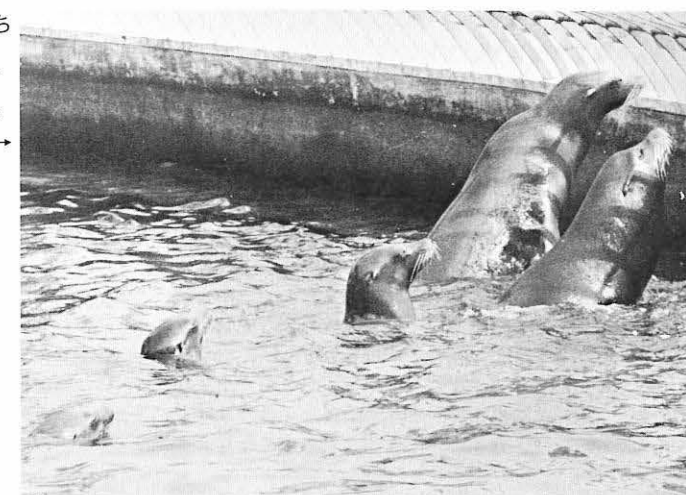


→
ラクダ
牧草が大好き、
粗末な餌でもOK!



←ゾウ
牧草など1日に
100kgをペロリ。
やはりゾウはジ
ャンボな食事。

アシカ
餌はまだか…と
首をのばして待つアシカたち
小あじを1日に6kgたべる。
水の冷たい秋や冬が大好き。



8・9月の動物園日記

- 8/29. キングペンギンが元気をなくしてびっこをひいて
いますので治療をしています。
- 31. 大型台風16号が接近しましたが、直撃をまぬがれ
影響はありませんでした。
- 9/2. ヒョウモンガメが1頭死亡しました。
クロオオカミを同居させました。
- 4. スジオナメラが7頭ふ化しました。

- レアが1羽びっこをひいているので治療を始めま
した。
- 5. フンボルトペンギンのメスが胆のう炎を起して死
亡しました。
- 6. ブラックバックのメスが1頭死亡しました。
- 10. ミヤマハッカンのメスが1羽死亡しました。
- 12. 今年生まれたキジ類にニューカッスルの生ワクチ
ンを飲水に混ぜて与えました。
- 13. ゴシキセイガイインコ、ピセイインコなど4種8
点のインコ類と、ハタオリドリ、ルビーチョウな

- ど4種18点のフィンチ類が入園しました。
- 15. キュウカンチョウの寄付がありました。
- 16. モウコレイヨウを閉園後1時間だけ運動場に初放
飼しました。
- 20. モウコレイヨウを運動場に放飼し、一般公開しま
した。
- 21. 気温が下がってきたせいか、は虫類の食欲がなく
なってきました。
カタジロワシが趾瘤症を起しているので治療をし
ています。

- 23. 動物感謝祭が行なわれ、死亡動物への慰霊、動物愛
護者表彰などの行事がありました。
- 24. パンダの貯金箱でおなじみのWWF（世界野生生
物基金）の貯金箱のお金を数えましたら 19840円
ありました。すぐ日本委員会へ送金しました。
- 25. スジオナメラ1頭の寄付がありました。
- 27. ニカクサイチョウ2羽、ナナミゾサイチョウ2羽
カモハクチョウ2羽、ヒドリガモ4羽、コガモ1
羽が新しく入園しました。
オセロット（1才半）のメスの寄贈がありました。

中国から入園した動物たちの近況

この夏中国の北京、上海の各動物園からやつてきた動物たちの入園後の様子について、各担当者にそれぞれ報告してもらいました。

モーコレイヨウ 葭谷文彦

1カ月間の検疫のち入園したモーコレイヨウはカモシカ園の1角にある寝室におす、めす別々に入れられた。金網を隔て、隣りどうしの部屋で広さもたっぷりあり、久しぶりに広い場所に移された2頭は部屋中を元気に歩きまわった。檻から出すときおすは、何のためらいもなくすんなりと出たが、めすは、やはりおく病なのか、なかなか檻から出たがらず、少し手をやいたが、狭い檻の中が安全だと思っているようであった。次の日、隣の野外音楽堂の音楽の音が響いてきて少しどきまぎしたのか興奮しているようであった。入園後、8日目にはじめて寝室の鉄扉を開けて外のカモシカやシカたちのようすを見せることにしました。遠くに見えるシカたちの動きを見て、自分たちの仲間かどうか見きわめているふうであった。わずかの時間であったが、少し興奮している様子で、その日は、や、採食が落ちたようであった。その次の日も半時間程度、前日と同じように、見合いを続けた。この日は、かなり落ちついて普通通り採食していた。やはり、微妙な動物どうしの感情があるのだなあーと思った。

部屋にいる間、これらのカモシカは奇妙な鳴き声を出していた。めすは、小犬のようなまた、大人がシャッキリと出すときに出すような声を出し、4〜5種くらいも違った声を出しているのが聞かれた。オクターブの高いのや、低いのやいろいろであった。また、何か警戒しているときには、連続的に鳴いていた。おすは、低く大きな声で、グーグーと鳴いていました。おすは、水をよく飲むが、めすは、それほどでもないようです。入園後10日目に、はじめて外の運動場に出してやった。閉園後の静かなときをねらってそっと扉を開けてやると、おすおす外に出ていきましたが、やがてなれて、とびはねるように、運動場を歩きまわりました。その日は1時間ほどで部屋に入れましたが、部屋にもすんなり入ってきましたので、大変安心しました。

また、この日、おすとめすをはじめて同居させました。これは思ったよりもすんなり一しょになり、おすとめすとの斗争のようなことは全くありませんでした。

何度目かの同居のときなど、おすは、盛んに走りまわり、めすに乗りかゝり、発情しているかのようでした。

9月20日、朝から、市長夫人や市内の幼稚園児を招いて、おひろめをしました。報道関係者も多数つめかけました。もうすっかり落ち着いていて、園児たちの与える餌を食べにくるようになっていました。

餌は、他のカモシカなどと全く同じものを与えていますが、パンが大好きらしく、一番に食べます。つぎにペレットを食べ、人参や馬鈴薯は、夜の内に全部たべているようです。こうした混合の飼料を与えるとおすは、前足で餌箱から全部餌をかき出してしまいうせがあります。

牧草は常時食べられるように与えています。大変好きで与えただけきれいに食べています。入園後、糞便検査をしてもらいましたが、腺虫がいるということで、虫下しの薬も与えました。



運動場に出したときに、金網をへだて、接近してきた、先住のシカたちに、めすが興奮してうろうろ走りまわったことがありました。おすは、

これらのシカを敵と思ったのか、前足でけりによくうなかつこうをみせ、おどしているようでした。

モーコレイヨウは、エダツノカモシカよりも走るスピードが早いと本に記してありました。また、スプリングボッグのような優美さはありませんが、足に力強さが感じられ、走りかたをみると、なるほど速そうだと思われ、蒙古の荒原で集団でかけている姿はすばらしいだろうなあーと思ったものでした。

クロオオカミ 正木時雄

8月22日に入園したクロオオカミは、おすは、やはりオオカミらしいすどい顔立ちですが、めすはや、おだやかで犬のような顔付きをしています。入園してから1週間は寝室にならすのと安定のためにずっと中に入れていました。8月28日におす、めす別々に運動場に出してやりました。中国にいる間は、まだ、この2頭は同じ部屋に入れたことがなかったとのことで、同居には、慎重を期す必要がありました。入園時まだ夏の暑いときでしたから、夜には扇風機をかけてやりました。

クロオオカミというくらいですから、全身は真黒の毛におおわれています。しかし腹の両側はコゲ茶色の毛がっています。また、面白いのは、ツキノワグマのように、胸前には白い毛が輪状にあることです。これは、おすとめすの両方に見られます。目は灰色でかなりすどい眼つきです。

9月2日にはじめて同居させてみました。入園後や、落ち着いたのか格うごしにおすがめすに接近して犬のようにクンクンさせていたので、これはいけると思ったからでした。1つ運動場に出たおす、めすは、最初おすがめすに接近して、めすの耳を咬んだ程度で、案外、すんなりと一しょになってくれました。

このごろでは、毎朝、8時半頃、おす、めすを運動場に出してやると、喜んでじゃれあったりしています。特に、おおかみ特有のじゃれあいである。交互に頭の上を



こすようにして跳ねる動作が見られます。私が行くとやめるのですが、遠くに離れて見るとまたこの動作をはじめののです。おすは、はや交尾の姿勢をとることもあるので楽しみです。

おすは、運動場をアチコチよく歩きまわりますが、めすは、部屋のすみで座っていることが多い。夕方、運動場から寝室に入れるのだが、めすは、こわがりだから入口が開くとすっと入ってくる。とにかく部屋のすみや、暗いところがすきなのだ。おすは、なかなか中に入らない。追ってやる必要があるのです。夜は寝室にいても立ち上ったりして外に出たいのか戸のすきまから外のようすをうかがっているようです。

餌は、中国では水牛の肉を与えられていたらしい。当園では、現在、おすには、鯨肉1.5kg、鶏の頭と首を5コ、めすには、鯨肉を1.0kg、鶏の頭と首を5コ、与えています。おすは、よくなれて手からでもとりに来て食べるが、めすは、餌を入れても私があると、警戒して食べない。しかし、夜の内には、完全に食べている。

餌を食べるとき、鯨は片足でふんづけて口で引きさくようにして食べています。この間、ニワトリを丸のまま、与えると、おす、めすとも1羽をペロリとたいらげてしまいました。

おすは、入園時、やせていたが、このごろは、や、肥えてきて、腹の巾が出てきたし、毛づやもよくなってきました。

めすは、プールに飛び込んで水浴びをするのが見られますが、おすは好きでないようです。

入園してまだ2ヶ月しかたちませんが、私はまだこのオオカミの遠吠えは聞いていません。もう少し環境になれてくれば、特有の鳴き声が聞かれるかもしれない。

とにかく、気候が涼しくなり、このオオカミにとって大変都合なシーズンに入りますが、餌もよく食べるし全く申し分ない。1〜2年後にはきっと赤ちゃんがうまれることでしょう。

タンチョウ 浅田保夫

8月6日、入園後すゞツル舎のタンチョウのおすの隣

の部屋に入れられました。入園時から大変落ち着いていて、私が掃除や、餌をやりに入っていても全く恐がることもなく、餌にもすゞつきました。

入園時、体重が軽く、胸の骨が出ているほどでした。また、全身の羽毛は、まだ、灰色の羽根が残った黒い羽毛も、黒がや、浅かったのです。しかし、2カ月をへた今では、換羽がす、み

すっかり鮮やかな白と黒の羽根になってきました。また、



頭頂の赤い色が出てきて、鮮やかな色になりつゝあります。

おすに比較して、幼いこともあり、体の大きさは1回り小さい。めすは、おすに近よる気配は大して示さないが、おすは、一しょうけんめいに金網ごしにくちばしを入れたりして興味を示しています。同居にはまだしばらく日数をおいてからと慎重にしています。

餌はドジョウを200g小あじを5〜6匹切って与えています。また、養鶏配合と中米を各100g与えています。入園時は、ドジョウばかりを食べていました。

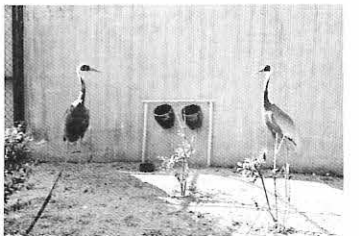
私がドジョウをつぼに入れると嘴で一ぺんに5〜6匹もつかみ出し、土の上にはうり出し、はねているドジョウを1匹1匹すばやく嘴ではきんで食べてしまいます。それで、5分もすれば、ドジョウのつぼは、空っぽになっていました。中米や、養鶏配合飼料は、好まなかったのですが、このごろはよく食べるようになりました。

運動場の木の根本や、壁ぎわを盛んにつついてミミズをさがしているのが見られ、若くて育ち盛りだからか、食い気1本というところですよ。

マナヅル

8月22日に入園したときは、おすめすともに落ちついていましたが、上海の動物園にいるときも、まだ、おす、めすを同居させていなかったということで、充分に見合いをさせてから一しょにしようとしていました。見合いの間は、めすの方が、おすの方に好きがって、金網ごしに行ったり来たりしていました。6日間ほどたつて、これは案外早く同居できそうだとということになり、一しょにしてみました。おすがめすの頭を嘴で少しつつくような素振りを見せたのですが、すぐになれて伸よくなり、一まず成功しました。その後、運動場を2つ使用して、おす、めすとも行き来できるようにしています。おすは、見合中に性別鑑定のために採血したのですが、その後から、人を非常に恐れるようになり、私が入って行くと恐れてバタバタして運動場の隅ばかり逃げてしまいます。私が出て行ってしまおうと平静になって餌を食べています。

おす、めすとも生きたドジョウは、ほとんど食べない。また小アジを1匹まるのまま、与えても食べないので1匹を厚さ3〜4mmに切りきざんで与



えるとはじめて食べるようになった。もちろん、頭の部分以外の肉の部分ばかりであるが…。やはり、このツルは、雑穀を主に食べるらしく、中米や養鶏配合飼料が好物である。とくに中米を好んで食べる。それで、このツルの糞は、キジの糞のように褐色の固型となります。

マナヅルやタンチョウにとっても、これから冬に向けて大変しのぎやすい気候になりますので、ますます元気になっていくことでしょう。

中国の動物園を見学して

辰野 勇

私は、園長と共にこの8月22日午後4時、中国民航のジェット機で晴天の羽田空港を出発しました。これは、上海へ贈るアシカとフンボルトペンギンにつきそっていくことになったからです。およそ2時間半で上海空港に到着しました。空港には、上海革命委員会や、上海園林管理、西郊公園動物園の方々が出迎えてくれました。その日はすぐ上海錦江ホテルに入り、翌日から各所を案内していただきました。



タンチョウ舎 (上海動物園)

23日は、9時半に車でホテルを出発し、美しい街路樹の中を西郊公園に到着しました。通用門から公園事務所へと案内され、ここで上海革命委員会の方や、いろいろの人々の話があった後、園長さんの話が続いた。現在、この公園で働いているのは全部で400人で、そのうち100人が動物飼育関係です。3班にわかれており、1班が飼料係、2班3班が動物飼育ということです。そして、残りの300人は、園内管理に従事しています。西郊公園の面積は、天王寺動物



金糸猴 (北京動物園)

園の約5~6倍程あり、園内はまるで森の中を歩いているように、緑の木々が茂っていました。それで、日中でも涼しく、高い木の上では、枝から枝へ野鳥が鳴きながら飛んでいるのが見られました。私が見たのは、カササギのようでした。全く、この動物園は公園の中に動物舎があるという感じで、ポツン、ポツンと動物舎が立っており、私たちは車で動物舎を見てまわりました。園内の道は舗装していません。全く紙屑がちらかっていませんし、紙屑カゴも見かけませんでした。動物舎は別に変わった建物はありませんが、たゞ広い運動場に草が充分に育っている

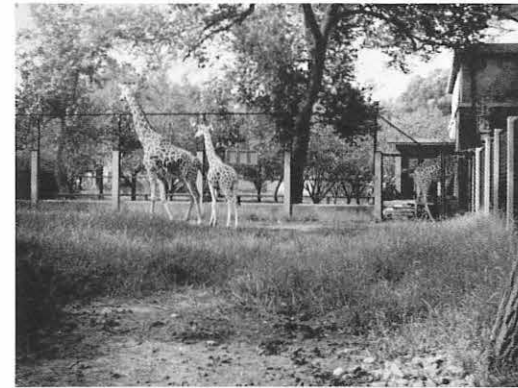


ターキン (北京動物園)

いました。

大阪より湿度もかなり低く、風が涼しく動物にもいい気象条件の動物園だと思いました。

次に、私たちは北京動物園と広州動物園を訪問しました。中国特産の珍獣といえばやはりオ1がジャイアントパンダ、それに、金糸猴そして、かもしかの1種のターキンでしょう。これらの動物は、上海動物園と北京動物園では、それぞれ3~6頭を飼育していました。



キリン舎 (北京動物園)

北京動物園では、先に天王寺動物園から贈ったカンガルーやコンゴインコも元気に遊んでいましたので安心しました。

広州動物園では、ターキンは見られませんでした。これは、きっとターキンが暑いところで飼育するのが難しいからでしょう。

北京動物園と広州動物園では、インドゾウが過去に2~3度出産したということです。

タンチョウは各国とも10羽以上を収容していると



ジャイアントパンダ (広州動物園)

でも立派でした。

私の見た感じでは、1番動物の栄養状態やコンディションのよいのは、やはり表玄関の北京動物園のように思われました。

各園ともに樹木でいっぱい、松やユーカリも見られあかも森の中にいるようでした。そして、町に出ると、これまた見事な街路樹で、その種類もブラタナス、イチョウ、ヤナギ、サワグルミと色どりも豊富でした。

私たちは、広州を最後に29日に香港につき、翌日大阪空港に帰ってきました。



ゾウ舎 (広州動物園)

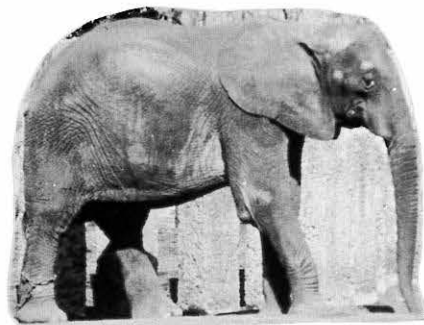
(飼育係)

動物相談室 (8)

今回は鳥類の質問を取りあげましたので、今回は哺乳類に関する一般的質問(病気や飼育法を除く)を取りあげてみました。

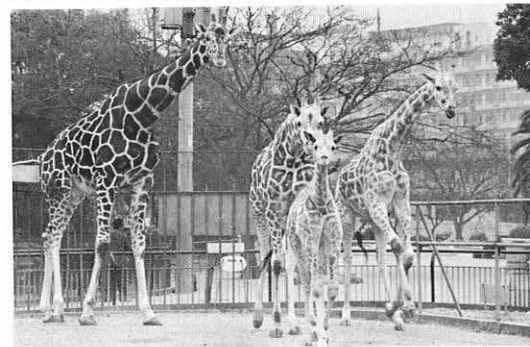
1. 現在一番大きな哺乳類は?

これはなんと言っても哺乳類に限らず脊椎、無脊椎を問わず、現在生存している動物中最大のものシロナガスクジラです。体長30m、体重150tにも達しまさに小島が動いているという感じです。体重だけでも相撲界一の巨漢高見山の1000倍もあるのですから驚きです。陸生の哺乳類ではアフリカゾウが



最大の体重を持っています。飼育下では6tほどですが、野生では7tにも達するものもあるとのこと、肩高は3.5mにも達します。当園の最大動物はインドゾウの春子で体重4t、肩高2.6mです。

一方、一番背の高いのはキリンで爪先から頭のてっぺんまで5.5~5.7mほどあります。しかしあんなに首が長いのに、首の骨(頸椎)は一般の哺乳類と同じ7個しかありません。

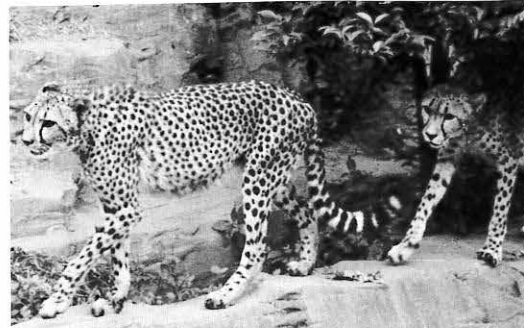


なお一番小さい哺乳類はチビトガリネズミで、体長5cm、体重3gにも満たない小さな動物です。

2. 世界で一番速く走る哺乳類は?

飼育ハンドブックによればチーターが最も速く、時速112kmとのこと。次いでモウコレイヨウ、エダツノカモシカ、スプリングボックなどのカモシ

カ類が時速96kmとのこと。モウコレイヨウは当園に先頃入園したばかりで、そのスピードぶりはまだお目にかかっていませんが、スプリングボック、ブラックバックなどがカモシカ園を走り回る時は確かにスピードがあります。



反対に一番のろい哺乳類はというとナマケモノではないかと思われ。なにしろ木の枝にぶら下がったら名前の通り体を動かすのがめんどらしく、ほとんど動きませんし、動いてもスローモーション映画のごとく非常に鈍重な動きです。



3. 哺乳動物で一番妊娠期間の長いものは?

アフリカゾウ、インドゾウが大体650日前後で最長と思われる。次いでサイの530~550日、キリンの450~500日がベスト3のようです。当園の記録ではクロサイのサッチャンが550日目で誕生しており、今年生まれたアミメキリンのキンちゃんも477日、ギンちゃんは502日で生まれています。

4. 動物園一の大食家は?

当園での一番の大食漢はインドゾウで、牧草60kg、ジャガイモ10kg、サツマイモ、リンゴ、ニンジンなど1日120kgほど平げます。これは値段にすると1日6000円ほどです。以下、カバが1頭当り1日に35kgほど、クロサイが30kgほどです。

*動物相談の受付は平日の3時~4時です。

(宮下 実)

動物園ニュース

☆スジオナメラの誕生

6月23日に産卵した17ケのスジオナメラの卵の内7ケが9月4日にふ化しました。ふ化日数は73日で、7頭の小へビはココロギなどの小昆虫を食べながら順調に育っています。



スジオナメラは中国、朝鮮、東南アジアなどに分布するへビで

☆動物感謝祭行われる

9月23日、愛護週間の行事の一つとして動物感謝祭が行われました。4月から9月15日までに当園で死亡した110の動物の慰霊も行われ、動物を代表してトラの仔とオランウータンのサツキちゃんが慰霊碑の前で祈りをささげました。



夢が広がるショッピング…… 近鉄がお届けします



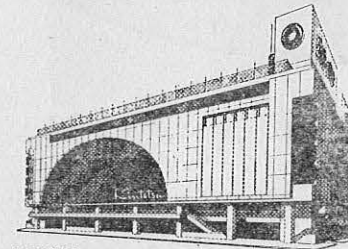
上本町近鉄 TEL.(06)779-1231



アベノ近鉄 TEL.(06)624-1111



奈良近鉄 TEL.(0742)33-1111



東京近鉄



ました。オセロットは現在日本の動物園では飼育されていない珍獣で、中南米に生息する毛皮の美しいネコ科の動物です。愛称はパトラです。



9時半開園~4時半閉園(11月~2月)

お願い

10月、11月の日曜日は非常な混雑が予想され、動物園駐車場もすぐ満車になり、周辺道路も車がひしめき、交通渋滞をおこします。ご来園にはできるだけ地下鉄、環状線等をご利用ください。また、みんながたのしく遊べるよう規則を守り、動物をかわいがってやってください。

私
航の
これ
つき
間半
命委
が出
ルに

23
路樹
園事
や、
が続
400人
わか
とい
に従

動物相談室 (8)

今回は鳥類の質問を取りあげましたので、今回は哺乳類に関する一般的質問（病気や飼育法を除く）を取りあげてみました。

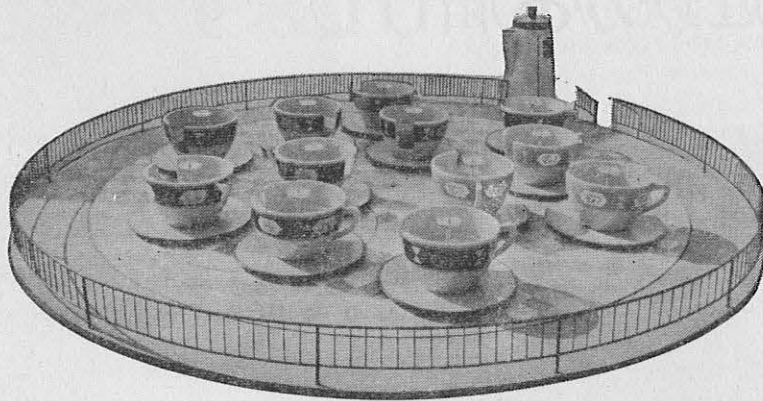
1. 現在一番大きな哺乳類は？

これはなんと言っても哺乳類に限らず脊椎、無脊椎を問わず、現在生存している動物中最大のものはシロナガスクジラです。体長30m、体重150tにも達しまさに小島が動いているという感じです。体重

カ類が時速96kmとのことです。モウコレイヨウは当園に先頃入園したばかりで、そのスピードぶりはまだお目にかかっていませんが、スプリングボック、ブラックバックなどがカモシカ園を走り回る時は確かにスピードがあります。



遊園施設委託経営・製作・販売



久竹 娯楽株式会社

本社工場 大阪市西区南堀江通3-40
電話 大阪(06)541-3112・3938 番

なお一番小さい哺乳類はチビトガリネズミで、体長5cm、体重3gにも満たない小さな動物です。

2. 世界で一番速く走る哺乳類は？

飼育ハンドブックによればチーターが最も速く、時速112kmとのことです。次いでモウコレイヨウ、エダツノカモシカ、スプリングボックなどのカモシ

当園での一番の大食漢はインドゾウで、牧草60kg、ジャガイモ10kg、サツマイモ、リンゴ、ニンジンなど1日120kgほど平げます。これは値段にすると1日6000円ほどです。以下、カバが1頭当り1日に35kgほど、クロサイが30kgほどです。

*動物相談の受付は平日の3時~4時です。

(宮下 実)

動物園ニュース

☆スジオナメラの誕生

6月23日に産卵した17ケのスジオナメラの卵の内7ケが9月4日にふ化しました。ふ化日数は73日で、7頭の小へビはココロギなどの小昆虫を食べながら順調に育っています。



スジオナメラは中国、朝鮮、東南アジアなどに分布するへびで日本での誕生は初めてと思われます。

☆モウコレイヨウ一般公開!

30日の長い検疫を終えて9月6日、カモシカ園に到着したモウコレイヨウは、しばらく寝室で飼いならしていましたが、9月16日に初めて運動場に出しました。始めはやや興奮気味でカモシカ園の一角を柵で囲んだ運動場内で飛び回っていましたが、時間と共に環境になれて係員の側までやって来る程の落ちつきを示しました。動物愛護週間の始まった9月20日、大阪動物愛護会から飼料の寄贈があり、当日から一般公開しました。

☆新着動物

9月13日にゴシキセイガイインコ、ピセイインコ、ルリコシボタンインコ、コザクラインコ各1番とキンカチョウ7羽、コキンチョウ3羽、ハタオリチョウ4羽、ルビーチョウ4羽が入園しました。9月28日にはヒドリガモ2



番、コガモ1番が入りました。9月28日にはニカクサイチョウ、ナナミンサイチョウ、カモハクチョウ各1番が入園しました。

☆オセロットの寄贈

9月27日、オセロットのメス(1才半)の寄贈がありました。オセロットは現在日本の動物園では飼育されていない珍獣で、中南米に生息する毛皮の美しいネコ科の動物です。愛称はパトラです。



☆動物感謝祭行われる

9月23日、愛護週間の行事の1つとして動物感謝祭が行われました。4月から9月15日までに当園で死亡した110の動物の慰霊も行われ、動物を代表してトラの仔とオランウータンのサツキちゃんが慰霊碑の前で祈りをささげました。



お知らせ

'74秋の動物園まつりがはじまります。

恒例の「動物園まつり」が次のとおり開催されます。お子様づれでかわいい動物たちと一日ゆっくり楽しんでください。

- とき 49年10月27日~11月10日
- ところ 大阪市天王寺動物園内
- 内容 A 期間中の日曜、祝日に限り
 - 動物無料相談コーナー(事務所前)
 - 幼稚園児の遊戯(野外ステージ)
 - オラン、ウータンの演技(野外ステージ)
 - たのしい人形劇(野外ステージ)
 - かわいい動物広場(北園高架下)
- B 10月27日
 - 怪獣と遊ぼう(怪獣と記念撮影)
- C 10月27日~11月4日
 - クロオオカミの愛称募集(投票資格12~16才)
 - 入選10名に賞品をさしあげます。

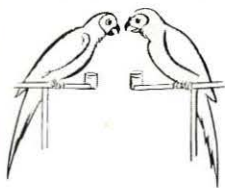
なお、動物園の開園時間、休園日については下記のとおりです。

- 休園日 毎月第三月曜日(10月は21日です)
- 開園時間 9時半開園~5時閉園(10月まで)
- 9時半開園~4時半閉園(11月~2月)

お願い

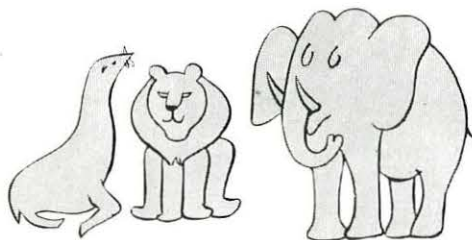
10月、11月の日曜日は非常な混雑が予想され、動物園駐車場もすぐ満車になり、周辺道路も車がひしめき、交通渋滞をおこします。ご来園にはできるだけ地下鉄、環状線等をご利用ください。また、みんながたのしく遊べるよう規則を守り、動物をかわいがってやってください。

なきごえ 昭和49年10月15日発行 (毎月1回15日発行) 第10巻第10号(通巻111号)
 編集／大阪市天王寺動物園 〒543 大阪市天王寺区玉水町2
 発行人／大阪市天王寺動物園協会 和田辰巳 電話 大阪 (06)771-0201
 印刷所／株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共) 1年継続(12部)1,100円(送料共)



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達



- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種 | 枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円

有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話(078)221-8195・221-1517
 飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494



自然の
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はいっさい含まれていません。



雪印ヨーグル

各140cc.=70円

パイン・オレンジ・ストロベリー・フルーツカクテル

編集委員

〈小谷 潔・林 邦彦・大野尊信・米田敏光・樽本 勲・田上 勝〉
 〈中川道朗・農本武志・深井和美・東 政宏・宮下 実〉